



ボランティアセンターだより

市社協

ボランティアセンター 本格的にスタート

ボランティアセンターは、市民のだれもが自分のできるボランティア活動を地域で積極的にすすめるように、いろいろな条件整備をするところです。また、いつでもだれでも気軽に立ち寄れるボランティア活動の拠点です。市社協ボランティアセンターは、皆さまと共に、活力のあるコミュニティづくりをめざします。

Vセンター スタート

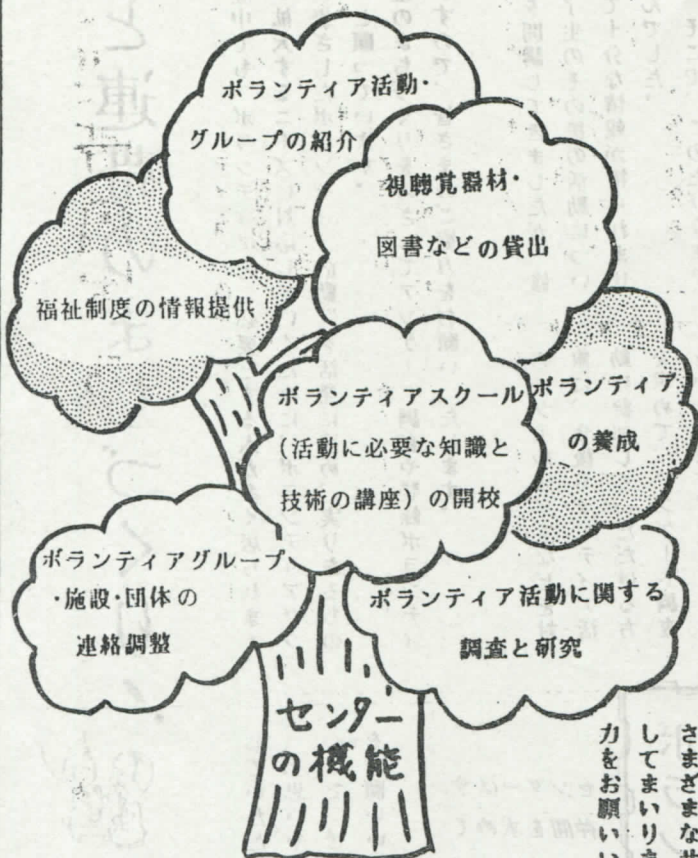
市内には現在、多くのボランティアやボランティアグループが活動しています。が、地域福祉や在宅福祉を推進するために、ボランティア活動がますます必要と

されています。

市社協は、今年度からボランティア活動の充実・強化をめざして、ボランティアセンターを本格的にスタートさせました。

センターの 目的は?

ボランティアセンターは、市民の皆さまにボランティアに関する理解と関心を深めていただくとともに、組織的なボランティア活動の実践と育成を行って、社会福祉の増進を図っていくことを目的として、積極的にさまざまなサービスを展開してまいりますので、ご協力をお願いいたします。



＝お問合せ＝

豊中市社会福祉協議会ボランティアセンター
☎ 06 (841) - 9393

ボランティア精神とは、特別な人の篤志ではなく、共同体の地域社会で人々が人間らしく幸せに暮らす基盤になる善意の活動です。人生の途上では、予期しない不幸や、生活上の困難な問題に遭遇する場合があります。周りの人たちが「他人ごと」と知らぬ顔をしたり、手助けを拒んだり、協力しないのではなく、進んで、共同体の福祉課題の派生を防ぎ援助する姿勢が大切です。つまり、地域社会を住みよい町にするために、市民各自がその個性を發揮し、可能な協力をして、日々の暮らしの活力となる「やりがい」と役割意識を高めることが、人権に基づく市民の義務だと思えます。このような、市民の善意や、生活態度を核にして、地域福祉を推進・充実して

創刊号に寄せて

『これからの豊中の福祉の拠点…
ボランティアセンター』

会いと、善意な活動を期待しましょう。

近年、福祉需要の拡大で『参加型』地域福祉がますます重要になっています。そこで、市民の手と心で公平に、きめこまかい日常的な福祉サービスの充実を図って、住みよい活力のある町づくりを実現するためのボランティアセンターなのです。

ボランティアセンター
運営委員長

吉田 芳子

ボランティアスクール 受講生募集中

テーマ「暮らしの中の福祉」

-----高齢化社会と市民生活-----

★日時 7/15(水)13:00-15:30「高齢化社会と市民生活」
7/22(水)13:30-15:30「体のしくみ・心のしくみ」
9/ 2(水)13:30-15:30「暮らしと豊中の福祉」
9/ 9(水)13:30-15:30「暮らしと経済」
9/16(水)13:30-15:30「活力のある町」

-----行政の役割・市民の役割-----

★場所 豊中市立福祉会館 第2会議室
★受講料 無料
★定員 30名(定員になり次第締め切りますのでお早めに！)
★申込方法 豊中市社会福祉協議会
ボランティアセンターまで 直接来ていただくか、
お電話で！ Tel. 06(841)9393

スクール修了生に
アンケート
ボランティアセンターで
は、ボランティアスクール

を開講してきましたが、修了生その後の活動について十分な情報が得られませんでした。
そこで、このたび今まで

私たちの町豊中でも、ボランティアを、必要とする人が多く居られます。また、今後、拡大するニーズに対応していくために、ボランティアセンターは「地域に根ざしたボランティア活動」を活発に進め、実りあるものにしていきたいと願っています。
住みよい福祉のまちづくりをめざしてアンケート調査や登録ボランティアを募っていますので、皆さまのご協力をお願いいたします。

友愛と連帯のまちづくり



ボランティアは何もむずかしいことではありません。誰もがもっている「やさしさ」「おもいやり」を形にあらわし、自分の余暇や技能を、「無理なく」「無償で」「自分の意志で」継続できればいいのです。
あなたの力と時間を、ボランティアセンターに登録

ボランティアセンターに
登録を！

のスクール修了生などを対象に、今後ボランティア活動に参加していただける方を求めています。アンケート調査をいたします。
皆さまのご協力をお願いいたします。



ボランティア協力は、児童・生徒がボランティア活動を通じて、「やさしさ」「いたわり」「行動する勇氣」など自主性を養うとともに、社会奉仕と、社会連帯の豊かな心をもつ人間として育つことを目的としています。
また、この活動を通じて、学校教育関係者や社会福祉関係者および地域住民が協力しあって、教育力や福祉力を育て発展させることを

ボランティア協力校指定

社会福祉協議会は「児童・生徒のボランティア活動普及事業」の一環として、小中学校を対象に「福祉教育協力校」(通称ボランティア協力校)を指定しています。

目的にしています。

指定の期間は3年間で、市内では5校がモデル校として活動を展開しています。学校と地区福祉委員会の協力で実りある活動をされることが期待されます。

《今年度の指定校》

学校名	校区名
野田小学校	野田
南丘小学校	新千里南町
原田小学校	原田
第七中学校	庄内
第十六中学校	北条

センターは今、仲間を求めています……。



していただけませんか？
「思いやる心」「温かい心」で、ぜひ積極的な参加をお願いいたします。



安心して活動にとりくむために

ボランティア保険

ボランティア活動や、地域での社会活動などをする場合ボランティア保険(総合保障制度)があります。毎月20日までに申し込んでいただくと翌月から加入できます。
申し込み・詳細については市社協ボランティアセンターまでお問合せ下さい。
電話(841)9393

保険の種類	掛金(年間)	保険期間
ボランティア保険	1名 300円	毎年4月1日～3月31日
子供会保険	1名 150円	(途中加入は翌月1日か)
有償活動保険	1名 1,000円	ら有効)
宿泊なし 行事保険	1名 20円 1泊2日 1名 160円	行事期間中



「ボランティアセンターだより」創刊号はいかがでしたか？
センター自身の機能は、まだまだ十分とは言えませんが、できるだけ早く、皆様の活動の拠点になりうるようにしていきますのでよろしく願います。
ボランティア活動に関する情報や、センターだよりなどのご意見、ご希望をボランティアセンターまで、お寄せください。

編集後記

